

有限責任中間法人

日本臨床高気圧酸素・潜水医学会

第1回臨床高気圧酸素治療装置操作技師認定委員会議事録

日時；2006年11月7日（火） 15：00～17：00

場所：へるす出版 会議室

出席者（敬称略順不同）：

理事：野口照義（委員長）、小濱正博（副委員長）、有賀 徹（庶務担当理事）、
平柳要、大庭正敏、奥寺敬、堂籠博、中川原譲二、成松英智

野口委員長より挨拶のあと初会合のため自己紹介。

議事1：委員会設立までの経緯

庶務担当理事として有賀理事より、本委員会設置までの経緯および技師認定委員会制度規則の概要が説明された。

議事2：逐条検討

技師認定委員会準備会にて審議、理事会で検討された制度規則について意見交換がなされ、修正が加えられた（詳細別紙）。

申請費用および認定料についての採算性について疑義（運営不能が予測される）が示されたが、制度の必要性の高さから、運営しながら検討していく問題であろうとの結論に達した。

認定コースについては以下の方針で進めることが合意された。

午前（9～12 時）で基礎編カリキュラム案（50 分×4）、ご午後（13～17 時）で臨床編カリキュラム案（50 分×4）で開催することとしコースガイドブックのテキストを用意する。

「指定施設における実習・実技・体験加圧」については施設と学会との合意書、実習費用、施設長への依頼・諒解作業、装置使用に関する諸問題が予想されることを勘案し当面“指定施設の見学”を基本的な考え方とする「本学会指定施設における研修」との文言で表現することとした。

議事3：今後のタイムスケジュール

以下が合意された。

- 1：この制度規則（案）・認定規則（案）・細則（案）について理事会承認を受け早期に「(案)」を削除する。
- 2：認定コース開催にあたり、テキストが必要との認識に至り、小濱副委員長と奥寺委員が目次案を作成、委員に回覧し意見を求めることとなった。返信時には、執筆希望項目および適任者の推薦を行うことも了解された。
- 3：テキスト（コースガイドブック）目次は11月中に決定し、2月原稿締切り、5月の学術総会時に発行を目指すこととなった。
- 4：テキストの発行に伴い、2007年9～10月に認定コース開催、筆記試験を2008年1月ごろ実施とのスケジュール案を理事会に提出することとなった。
- 5：また、専門医など上級者向けの教科書の発行も必要との意見も多く、コースガイドブック作成後に目次案を5月の理事会に諮るとの目標が同意された。

議 長：